

第 5 公営企業の業務の状況

1 電 気 事 業

(1) 平成18年度予算の状況

ア 平成18年度事業の経営方針

10発電所における年間販売電力量を 1 億8,300万キロワットアワー、販売電力量収入を17億余円と見込み、収益的収支の予算を編成しています。

また、資源の有効利用と販売電力量の増加を図るため、中小水力発電開発事業として平瀬発電所の建設事業を継続実施いたします。

なお、水力発電の経営は、気象条件に左右されますので、貯留水の効率的運用を図ることはもちろん、気象状況の早期把握、関係機関との密接な連携等を図り、販売電力量の確保による収入の増加と経費の効率的執行により経営の安定化に努力します。

イ 平成18年度予算の概要

平成18年度電気事業会計予算

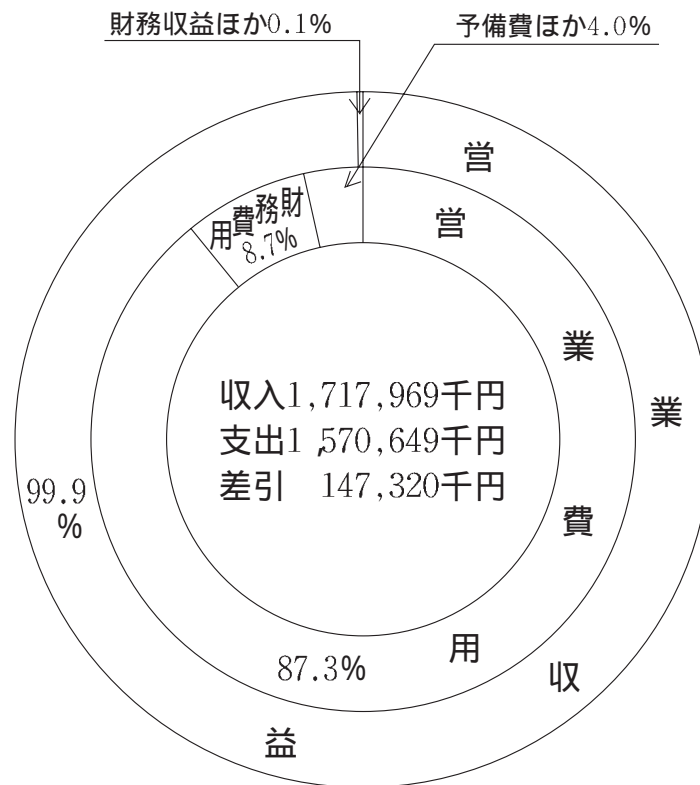
(単位 千円)

区 分	金 額	備 考
収 益 的 収 入		
第1款 電 気 事 業 収 益	1,717,969	
第1項 営 業 収 益	1,716,284	販売電力料金ほか
第2項 財 務 収 益	1,471	受取利息
第4項 事 業 外 収 益	211	事業外管理収益ほか
第5項 特 別 利 益	3	固定資産売却益ほか
収 益 的 支 出		
第2款 電 気 事 業 費 用	1,570,649	
第1項 営 業 費 用	1,371,727	発電費及び一般管理費
第2項 財 務 費 用	136,217	支払利息
第4項 事 業 外 費 用	59,702	消費税ほか
第5項 特 別 損 失	3	固定資産売却損ほか
第6項 予 備 費	3,000	
資 本 的 収 入		
第3款 資 本 的 収 入	10,396	
第3項 資 本 剰 余 金	7,211	国庫補助金
第4項 固 定 資 産 収 入	/	固定資産売却代
第5項 雑 収 入	3,184	共同施設受託金ほか
資 本 的 支 出		
第4款 資 本 的 支 出	499,051	
第1項 建 設 費	41,233	平瀬発電所建設ほか
第2項 改 良 費	162,151	発電所改良工事及び分担金
第3項 投 資	/	投資有価証券
第4項 償 還 金	292,566	企業債償還金
第6項 補 助 金 返 還 金	100	国庫補助金返還金
第8項 予 備 費	3,000	

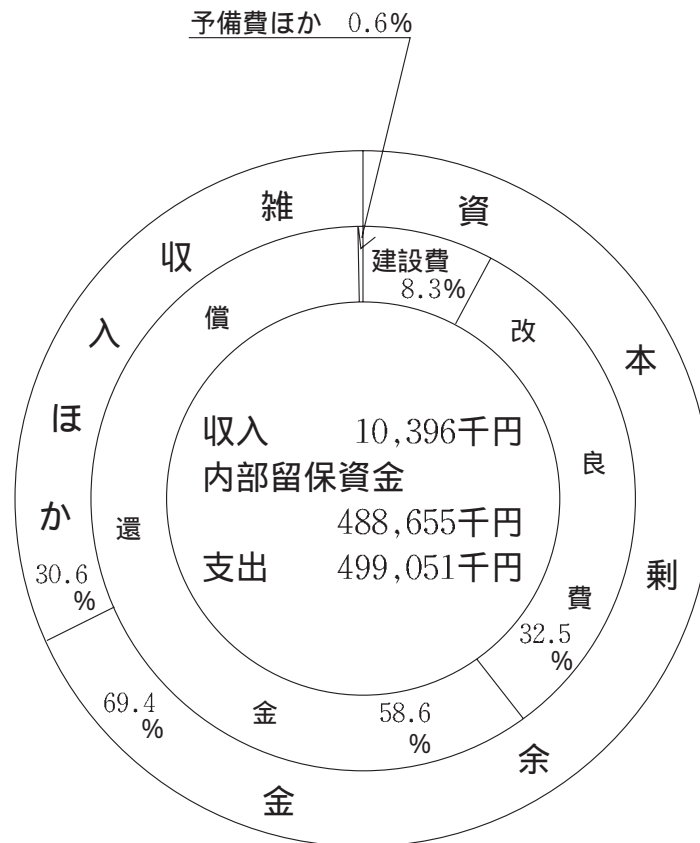
資本的收入額が資本的支出額に対して不足する額 4 億8,865万 5 千円は、内部留保資金で補てんします。

平成18年度予算

収益的収入及び支出



資本的収入及び支出



平成18年度電気事業予定貸借対照表

(平成19年3月31日)

(単位 千円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
/ 固 定 資 産	9,636,274	3 固 定 負 債	638,176
(1) 有 形 固 定 資 産	7,902,992	(1) 引 当 金	638,176
(2) 無 形 固 定 資 産	157,757	ア 退 職 給 与 引 当 金	169,823
(3) 投 資	1,675,525	イ 修 繕 準 備 引 当 金	411,780
2 流 動 資 産	3,064,234	ウ 渴 水 準 備 引 当 金	56,573
(1) 現 金 預 金	2,887,632	4 流 動 負 債	100,159
(2) 未 収 金	176,602	(1) 未 払 金	96,125
		(2) 未 払 費 用	2,566
		(3) そ の 他 流 動 負 債	1,468
		負 債 合 計	738,335
		5 資 本 金	10,082,894
		(1) 自 己 資 本 金	6,884,521
		(2) 借 入 資 本 金	3,198,373
		6 剰 余 金	1,879,279
		(1) 資 本 剰 余 金	586,111
		(2) 利 益 剰 余 金	1,293,168
		資 本 合 計	11,962,173
資 産 合 計	12,700,508	負 債 ・ 資 本 合 計	12,700,508

（２）平成17年度下半期の業務の概要

平成17年度下半期は、上半期からの少雨が続いたため年度を通じての降雨量は、県下主要ダム地点で平年の89.1%となり、平成17年度の販売電力量は目標に対して81.4%、電力料金収入は目標に対して94.4%となりました。

また、経営の安定を図る上から、より一層の経費の節減に努めるとともに、2月補正では、電力料金収入の減等により、収益的収入予算においては、全体で2,444万5千円の減額補正を、収益的支出予算においては、修繕費の増等により3,410万8千円の増額補正を行いました。

この結果、最終予算は、収益的収入において17億1,735万6千円、収益的支出において16億1,603万円、資本的収入において7,568万円、資本的支出において7億2,805万8千円となりました。

なお、中小水力発電開発事業として平瀬発電所の建設事業を継続実施しました。

（参考）

販売電力量・電力料金収入の状況

年 度	降 雨 量 mm	平 年 比 %	販 売 電 力 量 MWH	対 目 標 %	料 金 収 入 千円	対 目 標 %
	平年 1,947	100	目標 5～6年度 190,902 7～8年度 190,244 9～10年度 189,451 11～12年度 188,302 13～14年度 187,359 15～16年度 185,085 17～18年度 183,921	100	目標 5～6年度 2,058,401 7～8年度 2,052,321 9～10年度 2,076,298 11～12年度 2,036,893 13～14年度 1,905,516 15～16年度 1,777,081 17～18年度 1,675,915	100
8	1,541	76.3	124,926	65.7	1,839,296	89.6
9	2,538	131.3	191,394	101.0	2,015,831	97.1
10	1,907	96.3	174,513	92.1	2,027,695	97.7
11	2,008	100.9	170,776	90.7	1,982,091	97.3
12	1,519	75.6	135,452	71.9	1,865,879	91.6
13	1,976	102.1	147,764	78.9	1,785,485	93.7
14	1,544	80.7	148,743	79.4	1,788,578	93.9
15	2,115	111.0	176,563	95.4	1,752,682	98.6
16	2,499	136.7	212,153	114.6	1,854,945	104.4
17	1,734	89.1	149,706	81.4	1,582,314	94.4

(3) 企業債の状況

(平成18年 3 月31日)

(単位 千円)

区 分	発 行 総 額	償 還 額		未 償 還 残 高
		当年度償還額	償 還 額 累 計	
錦 川 水 系 発 電 所	1,888,000	83,987	531,898	1,356,102
佐 波 川 発 電 所	1,028,000	49,078	672,488	355,512
木 屋 川 発 電 所	646,000	28,841	300,784	345,216
新 阿 武 川 発 電 所	650,000	27,210	466,168	203,832
生 見 川 発 電 所	973,000	49,411	725,807	247,193
本 郷 川 発 電 所	223,000	11,226	161,814	61,186
末 武 川 発 電 所	883,000	34,997	342,463	540,537
小 瀬 川 発 電 所	320,000	13,639	147,638	172,362
計	6,611,000	298,409	3,329,060	3,281,940

2 工業用水道事業

(1) 平成18年度予算の状況

ア 平成18年度事業の経営方針

総給水量 5 億8,500余万 m³、給水収益85億2,000余万円を見込み、収益的収入の予算を編成しています。

また、将来の水需要に対応するため、建設事業として、生見川、木屋川第 2 期、吉原末武川、佐波川第 2 期の各工業用水道事業を引き続き実施します。

なお、工業用水の安定した供給に努めるとともに、引き続き、需要の開拓をはじめ、諸施策に取り組み、工業用水道事業会計の経営基盤強化に努力します。

イ 平成18年度予算の概要

平成18年度工業用水道事業会計予算

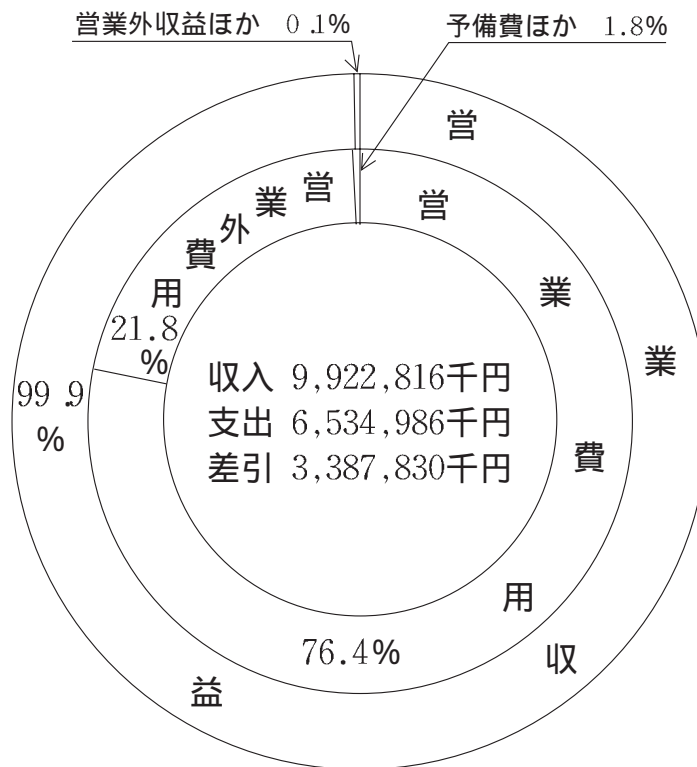
(単位 千円)

区 分	金 額	備 考
収 益 的 収 入		
第1款 工業用水道事業収益	9,922,816	
第1項 営 業 収 益	9,912,553	給水料金収入ほか
第2項 営 業 外 収 益	10,258	受取利息ほか
第4項 事 業 外 収 益	2	雑収益
第5項 特 別 利 益	3	固定資産売却益ほか
収 益 的 支 出		
第2款 工業用水道事業費用	6,534,986	
第1項 営 業 費 用	4,995,682	原水費、配水費及び総係費ほか
第2項 営 業 外 費 用	1,423,936	支払利息及び消費税ほか
第4項 事 業 外 費 用	2	事業外資産管理費ほか
第5項 特 別 損 失	105,366	企業債繰上償還補償金ほか
第6項 予 備 費	10,000	
資 本 的 収 入		
第3款 資 本 的 収 入	5,038,076	
第1項 企 業 債	3,521,000	改良事業資金
第3項 長 期 借 入 金	622,421	
第4項 資 本 剰 余 金	766,574	国庫補助金ほか
第5項 固 定 資 産 収 入	/	固定資産売却代
第6項 雑 収 入	128,080	共同事業者工事負担金ほか
資 本 的 支 出		
第4款 資 本 的 支 出	9,897,369	
第1項 建 設 費	646,300	建設事業費
第2項 改 良 費	2,186,279	施設改良事業費、ダム分担金
第3項 投 資	/	投資有価証券
第4項 償 還 金	7,039,500	企業債償還金
第5項 補 助 金 返 還 金	15,289	
第7項 予 備 費	10,000	

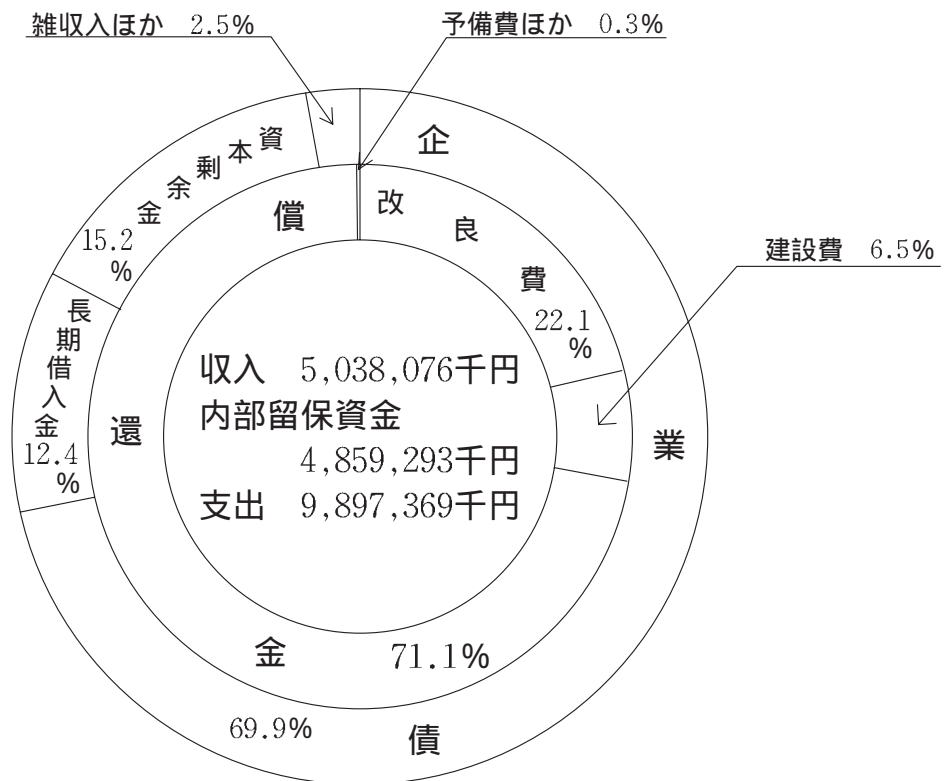
資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額48億5,929万3千円は、内部留保資金で補てんします。

平成 18 年 度 予 算

収益的収入及び支出



資本的収入及び支出



平成18年度工業用水道事業予定貸借対照表

(平成19年3月31日)

(単位 千円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
/ 固 定 資 産	153,274,567	3 固 定 負 債	2,921,203
(1) 有 形 固 定 資 産	143,171,435	(1) 長 期 借 入 金	1,328,685
(2) 無 形 固 定 資 産	10,103,130	(2) 引 当 金	1,592,518
(3) 投 資	2	ア 退 職 給 与 引 当 金	98,886
2 流 動 資 産	4,305,306	イ 修 繕 準 備 引 当 金	1,493,632
(1) 現 金 預 金	3,302,283	4 流 動 負 債	567,728
(2) 未 収 金	915,568	(1) 未 払 金	487,167
(3) 貯 蔵 品	41,455	(2) 未 払 費 用	31,804
(4) そ の 他 流 動 資 産	46,000	(3) そ の 他 流 動 負 債	48,757
		負 債 合 計	3,488,931
		5 資 本 金	97,065,946
		(1) 自 己 資 本 金	44,849,572
		(2) 借 入 資 本 金	52,216,374
		6 剰 余 金	57,024,996
		(1) 資 本 剰 余 金	50,480,639
		(2) 利 益 剰 余 金	6,544,357
		ア 当年度未処分利益剰余金	6,544,357
		資 本 合 計	154,090,942
資 産 合 計	157,579,873	負 債 ・ 資 本 合 計	157,579,873

（２）平成17年度下半期の業務の概要

平成17年度は、４月から６月にかけて少雨傾向となり、下半期の降水量も平年比の約85%と少なく、一部の地域で長期にわたる自主節水を余儀なくされたことにより、１年を通じての実給水量は、契約水量に対し72.6%（昨年度77.0%）となりました。

なお、平成17年度下半期も引き続いて将来の水需要に対応するため、建設事業として生見川、木屋川第２期、吉原末武川、佐波川第２期の各工業用水道事業を実施しました。

また、平成16年度に引き続き、工業用水道事業会計の経営基盤強化に取り組み、需要の開拓、料金の適正化等に努める一方、一般会計から長期借入金を受けました。

下半期における予算の補正については、収益的収入予算においては、雑収益の増加等により2,149万2千円の増額補正を、収益的支出予算において、動力費及び支払利息の減少等により１億3,048万1千円の減額補正をしました。また、資本的収入予算においては、企業債の減等により19億2,143万3千円の減額補正を、資本的支出予算においては、企業債償還金の減少等により20億8,751万円の減額補正をしました。

この結果、最終予算は、収益的収入において102億6,390万1千円、収益的支出において67億4,559万9千円、資本的収入において43億1,402万5千円、資本的支出において96億66万9千円となりました。

（３）企業債の状況

（平成18年３月31日）

（単位 千円）

区 分	発 行 総 額	償 還 額		未 償 還 残 高
		当年度償還額	償 還 額 累 計	
小 瀬 川 工 業 用 水 道	2,478,000	91,175	659,877	1,818,123
柳 井 川 工 業 用 水 道	126,000	7,405	56,507	69,493
向 道 ・ 川 上 工 業 用 水 道	1,246,600	69,582	482,473	764,127
周 南 工 業 用 水 道	6,683,000	167,532	882,126	5,800,874
佐 波 川 工 業 用 水 道	432,600	25,380	143,123	289,477
厚 東 川 工 業 用 水 道	6,161,400	318,392	2,354,055	3,807,345
木 屋 川 工 業 用 水 道	4,908,200	243,857	1,902,125	3,006,075
生 見 川 工 業 用 水 道	6,674,000	506,961	3,969,067	2,704,933
富 田 夜 市 川 工 業 用 水 道	7,777,000	669,256	6,161,194	1,615,806
厚 東 川 第 ２ 期 工 業 用 水 道	6,916,000	520,807	4,712,428	2,203,572
厚 狭 川 工 業 用 水 道	7,157,400	433,084	3,375,064	3,782,336
木 屋 川 第 ２ 期 工 業 用 水 道	7,049,000	1,030,563	4,092,481	2,956,519
吉 原 末 武 川 工 業 用 水 道	4,785,000	292,067	2,488,632	2,296,368
佐 波 川 第 ２ 期 工 業 用 水 道	7,085,000	523,249	4,070,578	3,014,422
小 瀬 川 第 ２ 期 工 業 用 水 道	11,980,200	1,664,414	5,813,725	6,166,475
本 局	185,000	13,498	138,273	46,727
計	81,644,400	6,577,222	41,301,728	40,342,672

3 総合医療センター事業

(1) 平成18年度の予算及び経営方針

業務予定量については、入院患者延べ数168,265人、外来患者延べ数238,140人を見込み、これを基礎に収益的収支の予算を編成しています。その予定額は、病院事業収益107億9,890万4千円、病院事業費用107億7,947万6千円で、前年度当初予算と比較して、収益で2億2,740万3千円の増加、費用で1億6,990万7千円の増加を見込んでいます。

また、資本的支出については、15億6,649万5千円を計上し、企業債償還金8億9,588万5千円のほか、病院施設を整備するため1億7,737万3千円、高度医療機器等を購入するため4億8,823万7千円を措置しています。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

平成18年度業務予定量と前年度との比較（当初予算比較）

区 分	平成18年度 (A)	平成17年度 (B)	増 減 (A)－(B)
1 病 床 数	504床	495床	9床
2 年 間 患 者 数			
入 院	168,265人	166,115人	2,150人
外 来	238,140人	253,516人	△15,376人
3 一 日 平 均 患 者 数			
入 院	461人	455人	6人
外 来	972人	1,039人	△67人
4 主 要 な 建 設 改 良 事 業			
病 院 施 設 整 備 事 業	177,373千円	1,016,218千円	△838,845千円
医 療 器 械 器 具 及 び 備 品 購 入	488,237千円	467,455千円	20,782千円

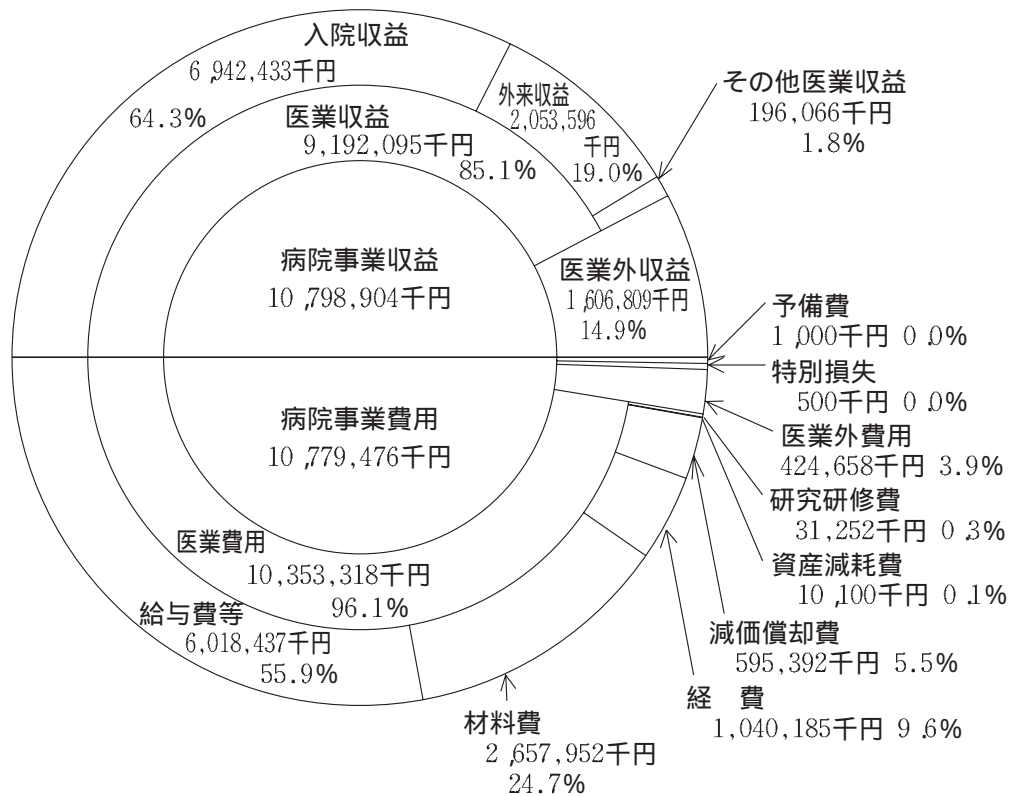
平成18年度総合医療センター事業会計予算の前年度との比較 (単位 千円)

区 分	本年度予定額 (A)	前年度当初 予定額 (B)	比 (A)－(B)	(A)／(B) %	備 考
収 益 的 収 入					
病 院 事 業 収 益	10,798,904	10,571,501	227,403	102.2	
1 医 業 収 益	9,192,095	8,879,658	312,437	103.5	
2 医 業 外 収 益	1,606,809	1,691,843	△85,034	95.0	
収 益 的 支 出					
病 院 事 業 費 用	10,779,476	10,609,569	169,907	101.6	
1 医 業 費 用	10,353,318	10,140,744	212,574	102.1	
2 医 業 外 費 用	424,658	467,325	△42,667	90.9	
3 特 別 損 失	500	500	0	100.0	
4 予 備 費	1,000	1,000	0	100.0	
資 本 的 収 入					
資 本 的 収 入	1,110,862	1,862,744	△751,882	59.6	
1 企 業 債	655,000	1,448,000	△793,000	45.2	
2 負 担 金	412,126	373,508	38,618	110.3	
3 寄 付 金	43,736	41,236	2,500	106.1	
資 本 的 支 出					
資 本 的 支 出	1,566,495	2,301,510	△735,015	68.1	
1 建 設 改 良 費	665,610	1,483,673	△818,063	44.9	
2 企 業 債 償 還 金	895,885	812,837	83,048	110.2	
3 予 備 費	5,000	5,000	0	100.0	

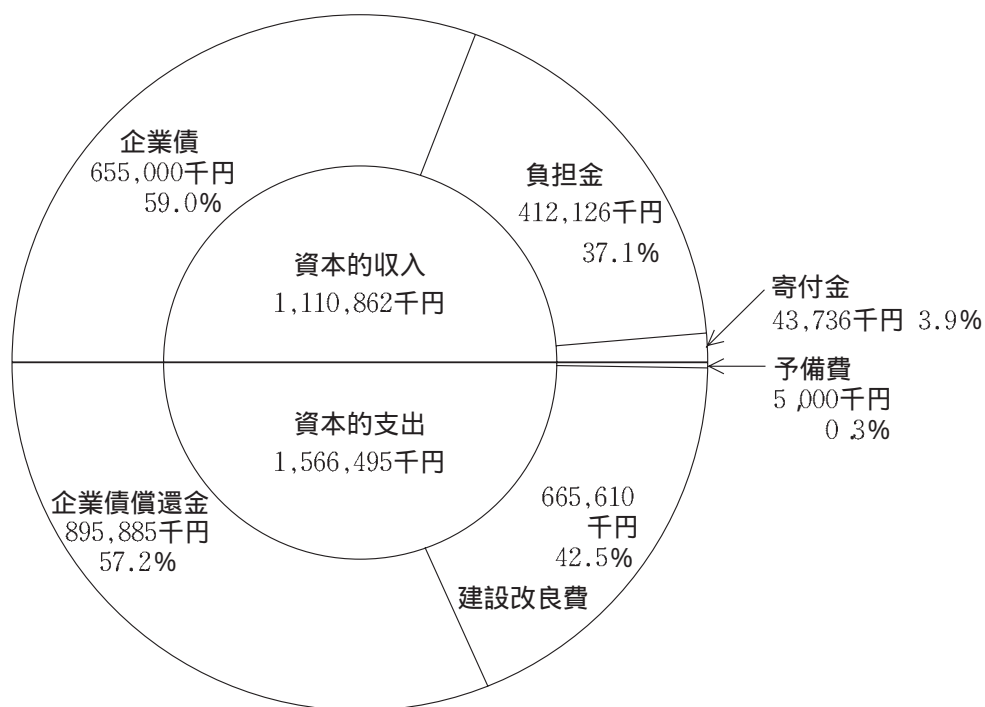
資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額4億5,563万3千円は、内部留保資金（損益勘定留保資金及び資本的収支調整額）で補てんします。

平成 18 年 度 当 初 予 算

収益的收入及び支出



資本的收入及び支出



（２）平成17年度下半期の業務の概要

公共医療機関としての使命と公営企業としての経済性の調和を図りながら、県民への医療サービスの向上に努めてまいりました。

下半期における予算の補正については、収益的収入予算において１億611万８千円の増額補正をしましたが、これは、入院収益の増加等によるものです。また、収益的支出予算において3,291万３千円の増額補正をしましたが、これは、材料費の増加等によるものです。

この結果、最終予算は、収益的収入において106億7,761万９千円、収益的支出において106億4,248万２千円、資本的収入において19億1,564万円、資本的支出において23億5,656万６千円となりました。

（３）企業債及び一時借入金の状況

（単位 千円）

区 分	発 行 総 額	償 還 額		平成17年度末現在高
		当年度償還額	償還額累計	
企 業 債	12,388,000	812,837	5,505,550	6,882,450
一 時 借 入 金	—	—	—	0

4 こころの医療センター事業

(1) 平成18年度の予算及び経営方針

業務予定量については、入院患者延べ数70,280人、外来患者延べ数16,905人を見込み、これを基礎に収益収支の予算を編成しています。その予定額は、病院事業収益14億3,730万8千円、病院事業費用15億428万5千円で、前年度当初予算と比較して、収益で3,240万円の減少、費用で3,456万5千円の増加を見込んでいます。

また、資本的支出については、27億936万6千円を計上し、企業債償還金928万1千円のほか、病院施設を整備するため25億8,993万5千円を措置しています。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

平成18年度業務予定量と前年度との比較（当初予算比較）

区 分	平成18年度 (A)	平成17年度 (B)	増 減 (A)－(B)
1 病 床 数	200床	200床	0床
2 年 間 患 者 数			
入 院	70,280人	73,000人	△2,720人
外 来	16,905人	17,395人	△490人
3 一 日 平 均 患 者 数			
入 院	193人	200人	△7人
外 来	69人	71人	△2人
4 主 要 な 建 設 改 良 事 業			
病 院 施 設 整 備 事 業	2,589,935千円	699,778千円	1,890,157千円
医 療 器 械 器 具 及 び 備 品 購 入	110,150千円	110,150千円	109,378千円

平成18年度精神病院事業会計予算の前年度との比較

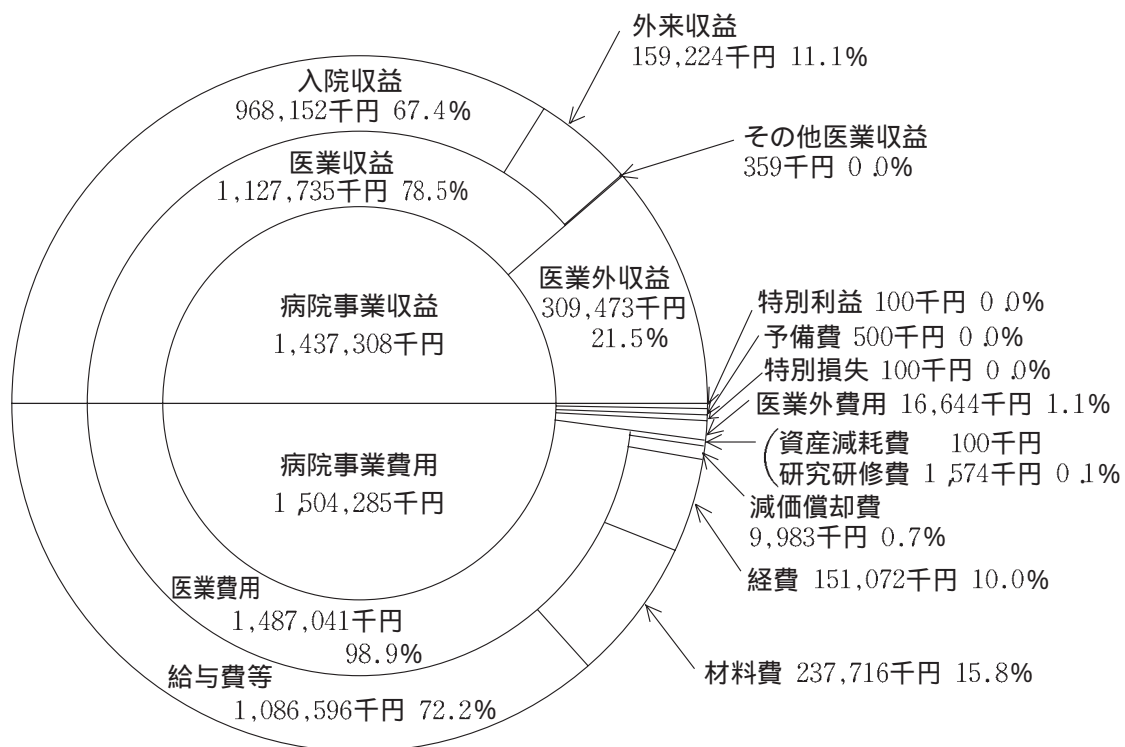
(単位 千円)

区 分	本年度予定額 (A)	前年度当初 予 定 額 (B)	比 較 (A)－(B)	(A)／(B) %	備 考
収 益 の 収 入					
病 院 事 業 収 益	1,437,308	1,469,728	△32,420	97.8	
1 医 業 収 益	1,127,735	1,147,175	△19,440	98.3	
2 医 業 外 収 益	309,473	322,453	△12,980	96.0	
3 特 別 利 益	100	100	0	100.0	
収 益 の 支 出					
病 院 事 業 費 用	1,504,285	1,469,720	34,565	102.4	
1 医 業 費 用	1,487,041	1,420,891	66,150	104.7	
2 医 業 外 費 用	16,644	48,229	△31,585	34.5	
3 特 別 損 失	100	100	0	100.0	
4 予 備 費	500	500	0	100.0	
資 本 的 収 入					
資 本 的 収 入	2,699,231	702,035	1,997,196	384.5	
1 企 業 債	2,686,000	692,000	1,994,000	388.2	
2 負 担 金	13,231	10,035	3,196	131.8	
資 本 的 支 出					
資 本 的 支 出	2,709,366	709,189	2,000,177	382.0	
1 建 設 改 良 費	2,700,085	700,550	1,999,535	385.4	
2 企 業 債 償 還 金	9,281	8,639	642	107.4	

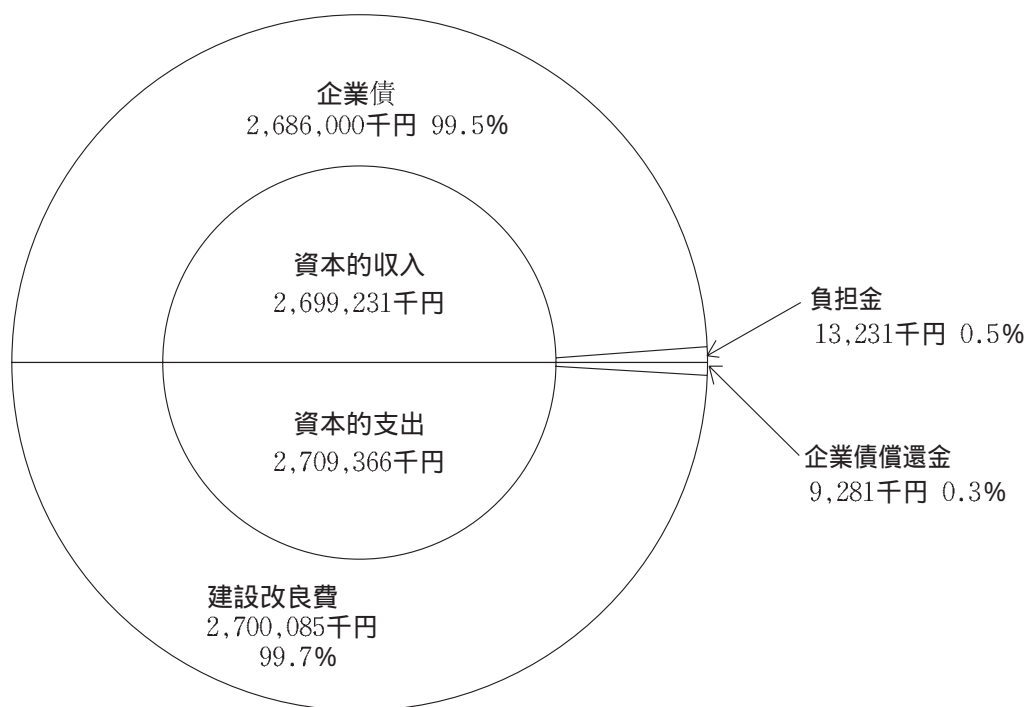
資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額1,013万5千円は、内部留保資金（損益勘定留保資金及び資本的収支調整額）で補てんします。

平成 18 年 度 当 初 予 算

収益的収入及び支出



資本的収入及び支出



（２）平成17年度下半期の業務の概要

公営企業として能率的かつ合理的な経営に努めるとともに、県下唯一の公立精神病院として先駆的で良質な医療により精神障害者の治療と保護を推進し、県民の精神的健康の維持向上に努めてきました。

下半期における予算の補正については、収益的収入予算において、１億334万9千円の減額補正をしていますが、これは、入院収益の減少等によるものです。

また、収益的支出予算において１億830万9千円の減額補正をしましたが、これは給与費の減少等によるものです。

この結果、最終予算は、収益的収入において13億6,637万9千円、収益的支出において13億6,141万1千円、資本的収入において５億9,748万4千円、資本的支出において６億508万6千円となりました。

（３）企業債及び一時借入金の状況

（単位 千円）

区 分	発 行 総 額	償 還 額		平成17年度末現在高
		当年度償還額	償 還 額 累 計	
企 業 債	913,000	8,639	92,883	820,117
一 時 借 入 金	—	—	—	0